



新潟県立生涯学習推進センター

生涯学習にいがた

No. 81 平成22年1月15日

社会全体で子どもをはぐくむ運動フォーラムを開催

家庭・学校・地域で思いを一つに、トライアングルで子ども育てよう！

新潟県教育庁生涯学習推進課

12月6日(日)、長岡市中之島文化センター(マナビィプラザなかのしま)で、「地域で支える子育て～具体的な支援や連携のあり方を探る～」をテーマに、「社会全体で子どもをはぐくむ運動フォーラム」を開催しました。

講演「家族の絆の創造～子育て支援の方程式～」

千葉大学 明石要一教授の講演では、少子化の進行や格差社会といわれ、親や地域が変わりつつある中で、現代の子育てやその支援の方向を示していただきました。子どもと周囲の大人との関係、二つの風と一つのカラー(家風、校風、地域カラー)を見つけよう、など、具体的でわかりやすい、示唆に富んだ講演でした。



研究協議「身近な地域での家庭教育支援 現状と課題、今後の展望」

家庭教育支援チームである柏崎市「よろんごの木」と魚沼市「ひまわり」から、新しい手法である訪問型家庭教育支援の取組事例を、長岡子育てライン「三尺玉ネット」からは、震災をきっかけとした交流事業などの事例を紹介いただきました。フロアからは、家庭教育の現状や地域で支えることの必要性など多くの意見が出され、発表者と活発な協議が行われました。地域の力で子どもや親を支え、子どものすこやかな育成を図らなければいけない、という熱い思いが伝わってきました。

コーディネーターである新潟大学大学院 雲尾周准教授から、「中学校区」を一つのキーワードとして、活動の中心メンバーを少しずつ交代しながら、多くの人に関わり、子どもが地域に根付くように育んでいこう、とまとめていただきました。



このほか、社会教育団体や市町村の家庭教育支援チーム、放課後子ども教室、学校支援など31の活動を合計80枚のポスターで展示し、紹介しました。参加者同士がポスター等を話題に情報交換などを行い、幅広く交流することができました。

また、「親子de楽しく」と題して親子向けに、松ぼっくりのツリーやカードつくりのほか、「にいがたキッズプロジェクト(事務局:BSN新潟放送)」の協力により、兼子香アナウンサーによる絵本の読み聞かせを行いました。それぞれに楽しいひと時を過ごせたようです。

家庭で、地域で、学校で、子どもやその親に関わり、それぞれの場で子どもの育成に取り組んでいる人たちが同じ場所に集まって、時間を共有し、交流し、思いを一つにすることは、とても意味のあることだと改めて思いました。

このフォーラムを機に、多くの人から参画していただき、社会全体で子どもをはぐくむ運動が大きく広がってほしいと願っています。

生涯学習機関等の連携に関する実践研究交流会

“各地で活躍する人と人をつなぎ、魅力的な実践に触れ、地域から元気をひろげ学び合う”

そんな交流会を是非地方で実施したい。国立教育政策研究所社会教育実践研究センターの初の試みで実施された『生涯学習機関等の連携に関する実践研究交流会』が、25年ぶりの大雪の中、新潟県立生涯学習推進センターで12月17日・18日の2日間にわたって実施されました。当日は、空も海も大荒れで新潟空港が閉鎖され、また、新潟市内の道路は除雪が間に合わないなど、交通が麻痺状態でした。そんな中、予定した飛行機が利用できず、急遽、新幹線等乗り継ぎ、遠くは愛媛県・徳島県・北海道と全国から約240人もの方々に参加しました。参加者の生涯学習推進への情熱と熱気あふれる交流会の概要は以下の通りです。

第1日目(17日)



● 特別講義「地域の教育力の創造とこれからの課題」

講師:茨城大学名誉教授 菊池 龍三郎 氏

地域の教育力の現状と課題から、今後の視点や必要とされる活動についての講義でした。

特にまとめとして、①社会教育にとって、地域の教育力を想像することの重要性 ②教育的な指導性の強まりの必要性 ③地域における「重要な他者」の発掘と組織化 ④地域における教育目標の具現化と共有化 の話がありました。

● 実践研究発表Ⅰ「支え合い 助け合い つながり合う “学びの実践”」

A) 学校教育・社会教育の連携

- ① 地域の子どもは地域で育てる～地域青少年育成会議の設立と地域の教育力向上をめざして～
- ② 「NPOカタリバ」の学校支援

B) 子育て支援

- ① 学・社・民の融合による児童期家庭教育学級
- ② 子育てポケットブックの作成

C) まちづくり

- ① やまなし若者地域活性化プロジェクト推進事業「ワイワイ(YY)プロジェクト」
- ② はぐくみのまちづくり運動について～青少年の健全育成で地域づくり～

D) 学習成果の活用

- ① 茨城県生涯学習・社会教育研究会の取組
- ② まちの先生企画講座について



第2日目(18日)

● 実践研究発表Ⅱ「支え合い 助け合い つながり合う “学びの実践”」

A) 学校教育・社会教育の連携

- ③ 「魅力ある学校づくり地域協議会」事業

B) 子育て

- ③ 訪問型家庭教育相談体制充実事業について

C) まちづくり

- ③ 「妙高市民の心」推進事業について

D) 学習成果の活用

- ③ 4町村連携講座“ふるさと再発見”



● パネルディスカッション「地域の新しいネットワークづくり」



コーディネーター:ふるさと再生塾塾長(前札幌国際大学学長) 小山 忠弘 氏

登壇者:文部科学省生涯学習政策局社会教育課企画官 岩佐 敬昭 氏

八洲学園大学長・筑波大学名誉教授 山本 恒夫 氏

特定非営利活動法人シブヤ大学代表 左京 泰明 氏

各自が、「地域のネットワーク」について普段考えていることや新たな「横」の連携によってうまれる相乗効果についての話がありました。特に、行政や高等教育機関、地域に関わる団体、企業、地域住民等が、住民の要望と社会の要請に応え、地域の教育力を高める新たなネットワークのあり方や必要性について話し合われました。

学校支援地域本部事業成果発表会

12月11日(金)、長岡市立劇場に125名の参加者を集め、「学校支援地域本部事業 成果発表会」を実施しました。事例発表市町村は妙高市と南魚沼市でした。また、講義では日本ボランティア学習協会常任理事・桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部客員教授 木村清一氏を講師に迎えました。概要は以下の通りです。

研修1 講義

「学校支援地域本部事業」成功のポイント

- ① コーディネーター・ボランティアと学校担当職員との打合せ時間の確保
- ② 学校のボランティアニーズに応えることがボランティアの役目
- ③ 学校経営方針の共有
- ④ 校長のリーダーシップ



研修2 事例発表

事例1 未来を担う”妙高っ子”のために

発表者: 妙高市学校支援活動コーディネーター 鈴木 裕子 氏
 妙高市教育委員会生涯学習課 馬場慎太郎 氏

事例2 大崎小学校「はなさきプラン」学校と地域はパートナー

発表者: 大崎小学校教育コーディネーター 田中 一利 氏
 大崎小学校教育コーディネーター 中島 澄江 氏



研修3 グループワーク

グループに分かれて、日ごろの悩み等を話し合いました。

生涯学習職員研修会『リーダー研修会』

11月17日(火)、県立生涯学習推進センターで、市町村生涯学習・社会教育機関関係職員、NPO関係者等を対象とした「リーダー研修会」を実施しました。概要は以下の通りです。

研修1 講義「これからの生涯学習・社会教育を考える」～元気な地域づくりのヒントをさぐる～

講師: 聖徳大学生涯学習研究所 所長 福留 強 氏

全国でまちづくりに関わりながら実践してきた事例「元気な地域に学ぶ(嘉例川駅ものがたり・志布志創年市民大学、やなだん等)」を取り上げ、「生涯学習で飯が食えるか(自己の向上、生活の向上、職業能力の向上等)」、「学びあうシステムづくりは、まちづくり」、「創年活動の広がり」等についての講義を行いました。

研修2 グループ討議 テーマ「元気な地域づくりのヒントをさぐる」～情報(意見)交換～

元気な地域づくりのヒントをさぐるため、5人1グループ、7班で「自分の地域の課題やその解決に向けての取組状況」「元気な地域づくりには、何が必要か」等の意見交換を実施しました。

研修3 発表(1グループ2分)・まとめ(講師より)

各グループでの発表の後、講師によるまとめ。

まちづくりでの行政の役割は、スタッフ(中心になって活躍してくれる人 3人からスタート)を育てること。

観光とまちづくりの推進として、旅のもてなしプロデューサー、旅程管理主任資格と仕事づくり等、観光立国の基本についての話がありました。



県立生涯学習推進センターの施設をご利用ください

◆生涯学習に関する機関や団体へホール(186席)と大研修室(100席)の貸し出しを行っています。

《利用可能日・時間》 ○火～金…9:30～19:00 ○土・日・祝日・第3木…9:30～17:00

《申請手続》 ○使用許可申請書は、使用する日の3ヶ月前から提出できます。

※ 平成22年4月以降の利用申込については、3月中旬から受付を開始する予定です。

《使用料》

	9:30～12:30	13:00～17:00	17:00～19:00
ホール(1階)	3,500円	4,600円	2,400円
大研修室(2階)	2,400円	3,400円	1,900円

* 冷暖房を使用する場合は、表の金額の120%に相当する額となります。
 * 使用時間が表の使用時間に満たない場合でも、時間割計算は行いません。

センターホールが名画座に!
映画・ビデオ鑑賞会
 ～ホール『全席』無料開放～

- ◆1月24日(日) 13:00～14:50
『愛するチャップリン』
・1915年制作、アメリカ映画、102分
- ◆2月28日(日) 13:00～14:30
『掘るまいか～手掘り中山隧道の記録～』
・2003年制作、DVD、83分
- 各回とも、開場は上映開始の30分前となります。
- 入場無料、申込不要、先着順(186名)
- 会場: 県立生涯学習推進センター・1Fホール
- 運営: 映画ボランティアの会
- 駐車場: 鳥屋野潟公園の駐車場をご利用ください。
- 詳しくは、センターホームページをご覧ください。
(<http://www.lalanet.gr.jp/nlpc>)
- ※ 事情により内容を変更する場合があります。

新潟県立青少年研修センター
2月の主催事業のご案内

- 家族でとびだせ! おもしろ体験ランド第3回**
「冬の体験ランドを楽しもう」
- ◇内容: 餅つき体験、伝統的な遊び、キャンドルファイヤーなどとおして家族・子間の絆を強めます。
また、青少年指導者としての冬の体験活動の知識と実践力を身につけます。
 - ◇日時: 2月27日(土)～2月28日(日) 1泊2日
 - ◇場所: 県立青少年研修センター
 - ◇対象: 家族、親子(子どもは小学生以上)
 - ◇定員: 60人(先着順)
 - ◇参加費: 3,000円(予定、材料・食事等)
 - ◇申込方法: 電話でお申し込みください。
 - ◇申込期間: 1月30日(土)～2月5日(金)
 - ◇申込先: 県立青少年研修センター
〒953-0012 新潟市西蒲区越前浜5597-1
TEL 0256-77-2111

県立生涯学習推進センター主催 特別講演会 **しんやの映画人生よもやま話 Part2**

ご好評におこたえして、今年も山本晋也監督がやってきます。

日時: 2月20日(土) 13:30～15:00 (開場13:00)

会場: 県立生涯学習推進センター・1Fホール

入場無料

往復はがきによる事前申込みが必要

(1枚のはがきで3名まで申し込みができます)

定員: 212名 (応募多数の場合は抽選)

申込締切 2月2日(火) 当日消印有効

申込先: 県立生涯学習推進センター

〒950-8602 新潟市中央区女池南3-1-2 Tel 025-284-6110

詳しくは、ラ・ラ・ネット(<http://www.lalanet.gr.jp/>)をご覧ください。

さわやかメール

「元旦の人は、神なり仏なり」という言葉を聞いたことがあります。新年を迎えると清々しい気持ちになり、今年1年が良い年となるよう誰もが心新たにしたいと思えます。今年寅年ですが、干支における寅は、「動く」の意があり、春が来て草木が生じる状態を表すと言われております。

また、虎(寅)と聞くと、勇猛果敢で、古来より強い者、豪傑の代名詞としても使われ、武田信玄や上杉謙信などは、「甲斐の虎、越後の虎(越後の龍とも言われる)」とも称され、戦国大名の中でも天下統一するのではないかと目されるほどの存在でした。

さて、新年を迎え、寅年の本年は虎にあやかり、勇猛果敢に様々なことにチャレンジしていきたいと思っています。ただし、「虎になる」(酒によって怖い者知らずになること、酔って乱暴になること)ことだけは、気をつけたいものです。

● 新潟県生涯学習情報提供システム「ラ・ラ・ネット」

<http://www.lalanet.gr.jp/>
 携帯版は、<http://www.lalanet.gr.jp/m>

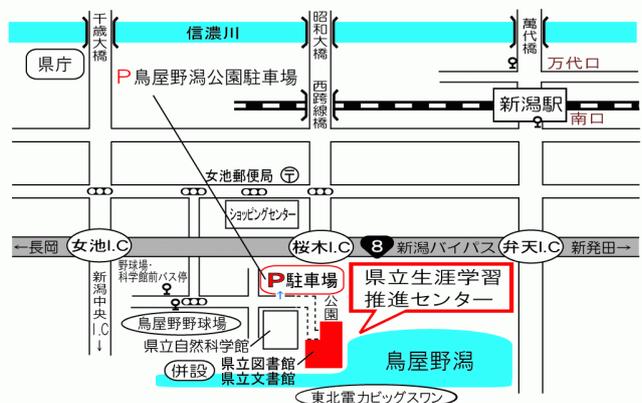


● 家庭教育・子育て電話相談「すこやかコール」

TEL:025-283-1150 FAX:025-284-6019

● 生涯学習相談・情報提供「ちょっとおしえてコール」

TEL:025-284-6119 soudan@mail.lalanet.gr.jp



新潟県立生涯学習推進センター 新潟市中央区女池南3-1-2 TEL:025-284-6110 FAX:025-284-6019
 (URL) <http://www.lalanet.gr.jp/nlpc/> (e-mail) nlpc@mail.lalanet.gr.jp